

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(高校生・大学生コース)を開催！



「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」は専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について学習してもらう(育成する)プログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、今年度も高校生・大学生コースが8月22日と23日に開催されました。22日に実施された現地研修会では、工事専用軌道(通称:トロッコ)で砂防工事の最前線である水谷へ上山し、立山カルデラ内の砂防施設を見学すると共に富山平野を守る立山砂防の事業や歴史について理解を深めていただきました。

開催日：令和5年8月22日(火)

10:00~17:00

場所：立山砂防事務所管内

※立山カルデラ、本宮砂防堰堤等

参加者：14名(高校生・大学生)

主催：富山県 地方創生局



出発前(注意事項の説明)



上山前に靴底の洗浄(外来種対策)



トロッコで水谷へ出発！



泥谷堰堤群を泥谷橋から見学



ココを往復

下流から見た白岩堰堤

インクライン跡の階段(420段)を往復



重要文化財で記念撮影



白岩砂防堰堤



天涯の湯(足湯前にて)



多枝原谷展望台と幸田文の文学碑



残念ながら大鷲・小鷲崩れは雲の中



カルデラ下山後、本宮砂防堰堤を見学

参加した学生の感想(抜粋)

- ・普段立ち入る事ができない場所が見学できて貴重な体験ができた。
- ・古い堰堤は石積で造られており、日本の土木技術はすごいと思った。
- ・立山の砂防について、もっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・自然と調和した防災を実現するためには、何百年も工事を続けていかなければならない事を改めて実感した。
- ・私たちが富山平野で安全な暮らしができるのは、立山の砂防施設とそこで働く方々のおかげである事を実感でき、立山砂防の重要性を知った。
- ・人間が自然に立ち向かう姿に感動した。
- ・今回のプログラムに参加して初めて砂防の存在や役割を知ることができた。
- ・プログラム全体を通して、とても良い企画だったと思う。